

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日  
令和4年12月15日（木）

2 確認箇所  
K4タンクエリア

3 確認項目  
K4タンクエリアの現況

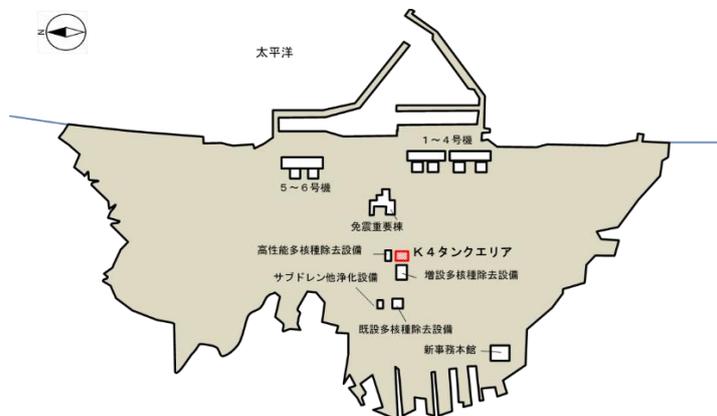
### 4 確認結果の概要

本年8月より多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）希釈放出設備及び関連施設設置工事が行われている。ALPS処理水放出前の測定・確認用設備として、K4タンクエリアのタンクのうち30基（計約30,000m<sup>3</sup>）を転用し、A～C群、各10基（1基約1,000m<sup>3</sup>）のタンク群毎に①受入工程、②測定・確認工程、③放出工程をローテーションしながら運用することとしている。

K4タンクエリアでは、ALPS処理水の測定・確認用設備として使うための工事が行われていることから、前回に続き状況を確認した。（前回確認：[令和4年11月25日](#)）（図1）

- ・ K4タンクエリア北東側において、循環ポンプ※へ接続する配管の敷設及び融着作業が行われていた。（写真1）
- ・ K4タンクエリアでは、敷設した配管の耐圧試験の準備として配管への水張り作業が行われていた。（写真2）
- ・ タンクエリア内部では、エリア底部に樹脂被膜を吹き付ける作業に関連して、周囲を養生する作業が行われていた。（写真3）

※ ALPS処理水を循環させ均質化するために、タンク内部で攪拌機を使った攪拌の他に、タンク同士をつなげて、外部の循環ポンプを使い循環させることとしている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
配管の融着作業の状況



(写真2)  
配管の水張り作業



(写真3)  
タンク底部の養生作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。